

# 「第2期西東京市子ども読書活動推進計画」ができました。

このたび、「第2期西東京市子ども読書活動推進計画(平成二十三年度から二十七年まで)」が策定されました。平成十七年度に策定された「西東京市子ども読書活動推進計画」が、平成二十二年度に終了するにあたり、昨年度、市民代表や関係市職員等十三名で構成された「第2期西東京市子ども読書活動推進計画策定懇話会」が設置され、子ども読書活動にかかわる「家庭・地域」「保育所(園)」「児童館・学童クラブ」「学校」「図書館」の現状を分析し、今後の課題について検討しました。

計画は(前略)子どもたちがその発達段階にふさわしい本と楽しい出会いを経験するためには、子どもと本をつなぐ「人」、子どもが本に親しむ「時間」と「場所」が保障されなければなりません。市内のすべての子どもが読書を楽しむことができよう、市と市民はそれぞれの立場で子どもたちの読書を支える活動を推進し、協働して、その環境整備を進めます」とした前計画の基本理念を踏まえ、子どもたちのさらに豊かな読書環境づくりの整備をめざします。基本方針は、「(一)子どもと本の出会いの場を子どもの身近なところ

で数多く設定します。(2)学校図書館の一層の活用を図ります。(3)子どもの読書に関わる諸機関や市民団体・ボランティアの連携を進めます。(4)子どもの読書について大人への啓発と支援を行います。(5)「第2期西東京市子ども読書活動推進計画」の周知を図ります」を目標に策定しました。



中央図書館「蚊帳の中のお話し会」

様の「子ども読書活動推進計画」への関心の高さが感じられます。なお、詳しい内容については、図書館または市のホームページでご覧になれます。今後は、関係機関が相互に協力・連携することで、市全体のネットワーク化を確立していくことが重要で

## 二十三年度 事業計画

計画の周知をはかるための行事を平成二十三年度に予定しています。また、進捗よく状況は中間年度の平成二十五年に確認し、公表します。

### 成人サービス

各サービス部門の今年度の事業予定をお知らせします。成人サービスは、十八歳以上すべてという幅広い年齢層を対象としています。そこで、平成二十年度から、特定の世代の利用を意識した資料を、一か所に集めて提供する、対象者別サービスに取り組んでいます。今年度は、昨年度、柳沢図書館で開始したシニア世代向けのサービスと、開館以来取り組んでいる保谷駅前図書館のビジネスパーソン(勤労者世代)向けのサービスの拡充に努めます。情報紙「今月の本棚」の発行、全館



柳沢図書館・シニア支援コーナー

### 児童・ヤングアダルトサービス

統一展示も継続して行います。また、催しについては、例年実施している講演会と朗読会に加え、西東京市誕生十周年記念事業として、「田無朗読ボランティアの会」と「保谷朗読ボランティアの会」の協力を得て、「大人のための朗読会」を十月に開催します。逐次刊行物サービスでは、寄贈資料の活用について検討します。視聴覚資料サービスでは、図書館閉館時のCDの返却方法について検討する予定です。

### ハンディキャップサービス

ハンディキャップサービスは、利用するときに発生する障害を、図書館が取り除いた上で利用していただくサービスです。デージー図書は音声をデジタル化してCD-Rに録音したのですが、昨年度、音訳図書を製作する三十八名のうち、三十一名がデージー図書制作研修を修了しました。市内七か所の録音ブースと自宅での編集環境も整備しました。これにより、今年度、デジタル音声によるデージー図書製作が本格化します。なお、声の広報、地域情報や新刊案内などは、テープ版での提供を継続します。昨年度末に実施した市内の視覚障がいをお持ちの方へのアンケート結果に基づき、ハンディキャップサービスの利用の拡大

を検討します。同時に「宅配サービス」に関するアンケートも行いましたが、この結果と今年度実施予定の図書館利用に関するアンケートに寄せられたご意見をふまえて、宅配サービス計画を作成したいと考えています。



の整備を継続的に進めています。また、今年度から始まる「第2期西東京市子ども読書活動推進計画」に基づき、各種事業に取り組みます。旧田無市図書館が「夏休み・せいせん図書」の選定を始めてから今年で二十年になります。そこで、二十年を記念する冊子を発行します。これは、過去に掲載した作品から、再度厳選してご紹介するものです。ヤングアダルトサービスでは、情報紙「CATCH(キャッチ)」のヤングアダルト世代との共同編集を開始します。読者世代の意見を取り入れることで、内容のより充実した楽しい情報紙作りをめざします。



YA世代向け情報紙「CATCH」

### レファレンスサービス

レファレンスサービスは、市民の調査・研究を支援するサービスです。調査・研究用参考図書の収集・整理については、引き続き中央図書館

の充実を図り、市民の調査・研究活動を援助します。質問・調査記録の図書館ホームページ上での公開、国立国会図書館レファレンス協同データベース事業への参加、メールで質問・調査の申し込みを受け付け回答する「Webレファレンス」は、継続して実施します。利用者用インターネット端末については、保谷駅前図書館の機器を新しく入れ替えます。

### 地域・行政資料サービス

地域・行政資料室は、「郷土に関する専門図書館」をめざしています。そのため地域固有の資料を、着実に継続して収集・保存し、西東京市の歴史を後世に伝えるよう努めています。今年度も西東京市関係資料の収集に力を置きます。また、地図等の図書の形態ではない資料の整備を進めます。さらに、修復した絵図・文書などの歴史的資料やレファレンス事例の図書館ホームページ上での公開に取り組みます。

このほか、地域の人材を活かした講座の実施、「田無のむかし話」その3の再版と販売、『なつかしの田無・保谷平成十九〜二十一年度作成写真パネル図録』の販売とパネルの貸し出しを行います。

### 平成23年7月1日(金)より、西東京市図書館で所蔵していない資料のリクエストサービスが変更になります。

平素は、西東京市図書館をご利用いただきありがとうございます。西東京市民へのサービスの強化を図るため、市外にお住まいの利用者の方へのサービスを下記のとおり変更させていただきます。

今までご利用いただいていた利用者の方にはご不便をおかけいたしますが、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

対象の方	変更するサービスの内容
西東京市以外にお住まいの利用者	西東京市図書館で所蔵していない資料のリクエストは受け付けができません。(カウンター、Web、電話等の申込方法を問わずすべて受け付けができません)

※サービスの変更内容の詳細につきましては、次号の『西東京市図書館だより』(7月1日号)でお知らせします。